

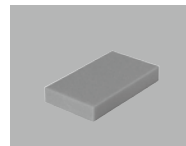
コーティングケア作業マニュアル

目的 すでに施してあるボディガラスコーティングの表面のミネラル膜を取り、本来のツヤ、水はじきに戻す。

用意
するもの



コーティングケア



赤スポンジ



キーパークロス



タオル赤・白

施工方法はピュアキーパーとほぼ同じです。

洗車



- ① 手洗い洗車か洗車機の水洗い洗車で泥やホコリを洗い流す。洗車作業後は必ず車を濡らしたままにしておくこと。

コーティングケア作業



- ② 水をよくしぼったスポンジに適量スプレーする。
(上から下までまんべんなく2往復)
(一本で約7台施工できる。)



- ③ ボンネット半分程度に隙間無くきっちりケミカルを伸ばし、しっかりフチを決める。

スポンジを絞る



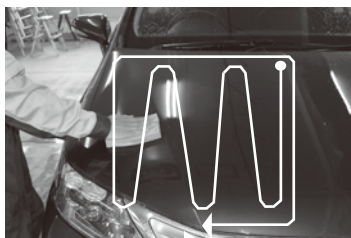
細かい所・フチの所もキッチリ手をたなを切るように!

- ④ スポンジをタテヨコに細かく動かしミネラル膜を取りながらならず。

・ピュアキーパーより少し強くする程度の重さが適度
・フチやへこみの部分はスポンジの上から指でおさえながら作業をおこなう。

スポンジを絞る

拭き上げ



- ⑤ スポンジを裏返してキレイになっているか確認しながら残ったコーティングケアのカスを取る

全体に施工して



- ⑥ エアガンで隙間の水を追い出し、固く絞ったキーパークロスとタオルを両手に持って拭きあげをする

確認



- ⑦ 最後に拭き残しがないか、タオルとキーパークロスを用いて、確認しながら仕上げを行う。

作業上の注意

- ・劣化したゴム、プラスチックモールなどは極力触らない。
- ・ドアステップまわりの汚れ取りも心がける。